

# 日商簿記 1 級&全経上級ダウンロード講座 工原 NO.24 補講【本社工場会計】

収録日：平成 25 年 10 月 27 日

## 【出題実績】

日商出題傾向：

全経出題傾向：工業簿記 150 回

	検定簿記講義(商簿)	サク	スッキリ	教科書
ページ数	13			

◎説明あり、例題あり ○説明あり、例題弱い、△説明弱い、例題あり、×説明弱い、例題弱い  
（「弱い」は「ない」を含みます）

検定簿記講義以外のテキストには記載されていません。

過去は全経でしか問われていませんが、日商簿記の範囲にも入っています。  
考え方は簡単ですので、一度だけ解いておくことをおすすめします。

論点は内部利益のみ。本支店会計ができれば、必ずできます。  
但し、棚卸資産の種類が多いので、そこらをしかくりと対応できるようにしよう。  
そんなに出る論点ではありませんが、出た時の為の学習

## 本社および工場の貸借対照表（全経上級 150 回 類題）

亀山社中（株）は本社で材料を仕入れて工場に送付し、工場で製品に仕上げて本社に送付後、本社で製品を販売している。工場は本社から独立した帳簿組織を設けている。次の資料に基づいて、設問に答えなさい。

### 【資料】

- 本社および工場の貸借対照表（未達整理事項後）

現金預金	500,000	買掛金	1,200,000
売掛金	800,000	借入金	700,000
製品	1,452,000	貸倒引当金	50,000
建物	3,000,000	減価償却累計額	950,000
備品	1,000,000	資本金	7,000,000
土地	2,000,000	当期純利益	3,447,400
工場	4,595,400		
	13,347,400		12,097,400

現金預金	200,000	減価償却累計額	1,050,000
製品	1,080,000	本社	4,595,400
材料	950,400	当期純利益	2,764,000
仕掛品	704,000		
建物	1,500,000		
機械	1,200,000		
備品	500,000		
土地	1,800,000		
	7,934,400		8,409,400

- その他
  - ① 本社から工場へ送付する材料には原価の 10%の利益を加算している。
  - ② 本社から工場へ送付する材料には原価の 10%の利益を加算している。
  - ③ 製品の製造原価の内 50%は材料費であり、残額は加工費である。
  - ④ 期末仕掛品の加工進捗度は 60%である。
  - ⑤ 材料は工程の始点で全て投入される。
  - ⑥ 期首には棚卸資産の在庫はなかったものとする。

設問 内部利益合計額を答えなさい。